

# 第 75 回文化祭

# westart

テーマに込めた想い

75 回という節目に、アクリエひめじという新たな会場で、さらにグレードアップした文化祭として新たなスタートを切るという決意

西高の「芸術」を作り上げるという決意

## 目次

### Part 1

文化祭の概要..... 1

プログラム内容..... 2

### Part 2

準備について..... 5

### Part 3

スピーチコンテスト..... 8

階段アート・文化部展示..... 9

学年展示..... 10

### Part 4

ミニフェスティバル..... 11

生徒会の働き..... 14

### Part 5

オープニングプロジェクト..... 16

学年劇..... 17

最後に..... 20

# 文化祭の概要

姫路西高校の文化祭は2日間に分けて開催されます。

【1日目（姫路西高校体育館）】2022年4月14日（木）

オープニング・スピーチコンテスト本選・文化部展示・学年展示（新2年）・SSH 発表会・図書館開放・ミニフェスティバル・スタンプラリー

【2日目（アクリエひめじ）】4月15日（金）

オープニングプロジェクトによるオープニング・文化部ステージ・学年劇・幕間仕事人・エンディング

文化祭では毎回テーマ・ロゴデザイン・Tシャツを作っています。

## テーマ

westart

全校委員長 上田蒼大郎考案（意味は表紙に記載）

## ロゴデザイン

75回生 矢橋葉名さん制作



## Tシャツ



文化祭 T シャツは、生徒会執行部とその他の役職で色が異なり（左画像はどちらも生徒会役員）、当日何かの仕事に当たっている生徒が着用することができます。

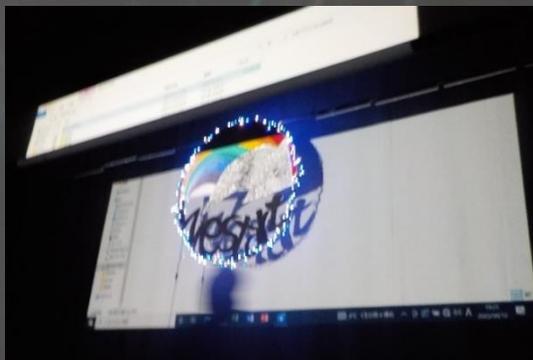
前プリント：75回生 松浦鈴子さん制作  
後プリント：文化祭ロゴデザイン

# プログラム内容

## 1. オープニング（1日目）



1日目オープニング映像（上画像）  
ロゴが出現している様子（下画像）



オープニングは文化祭中に2回あり、1日目は生徒会執行部の担当者、2日目はオープニングプロジェクトチームが作成します。

1日目は吹奏楽部による華やかなファンファーレ演奏から始まり、その後生徒会執行部作成のオープニング映像が流れます。第75回文化祭は節目ということもあり、西高の歴史を辿った約2分のアニメーション映像でした（左上画像）。映像が終了しロゴデザインがスクリーンの裏から出現したとき（左下画像）は、会場が全校生徒の拍手に包まれました。

オープニング映像が終了した後、教頭先生の威勢の良い開会宣言があり、学校長挨拶、全校委員長挨拶、テーマ説明へと続きます。

## 2. SSH 発表会（1日目）

令和3年度の海外研修はコロナ禍で中止となりましたが、エンパワーメントプログラムは実施されたため、その報告会が行われました。また、2月に実施したSSH（スーパーサイエンスハイスクール）成果発表会における様々な研究テーマ発表の中から代表グループのプレゼンテーションも行われました。

## 3. 総合司会（2日目）



文化祭2日目の進行を務めます。文化委員長と確認を取り合いながら舞台を取り持ち、会場の雰囲気と和ませつつ円滑に進めます。舞台転換に時間がかかる場合は事前に用意していたクイズなどを行います。

総合司会者が場をつないでいる様子（文化委員長目線）

4. <sup>まくあい</sup>幕間仕事人（2日目）



アクリエひめじでのパフォーマンス  
漫才「センシティブボーイ」(左)  
ダンス「Seventeen」(右)

ステージの間を取り持つ係です。幕間仕事人は、「準備について」にもあるように、オーディションで選ばれたグループ2組のみ担当することができます。今年は漫才のコンビとダンスのトリオが見事オーディションに合格しました。漫才では会場が大きな笑い声で溢れ、ダンスの時は素晴らしい表現に圧倒されました。

5. 文化部ステージ（2日目）



バトントワリング部 (左)  
室内合奏部 (右)



音楽部 (左)  
箏曲部 (右)



ギター・マンドリン部 (左)  
吹奏楽部 (右)

※プログラム順

2日目はアクリエひめじで開催されます。ステージで発表を行うのはプログラム順に「バトントワリング部」「室内合奏部（この中で室内合奏部・音楽部・吹奏楽部の合同合奏あり）」「音楽部」「箏曲部」「ギター・マンドリン部」「吹奏楽部」の計6部活です。どの部活もそれぞれの個性を發揮した素晴らしいステージとなっており、とても見ごたえのあるものでした。

## 6. エンディング（2日目）



エンディングの映像からのキャプチャ（上3枚と左下2枚）

文化委員長挨拶（右下）

エンディングではまず映像が流れます。映像は生徒会執行部のエンディング担当者が制作します。エンディングは各プログラムの練習風景や前日準備、各クラスの写真、生徒会執行部からのメッセージなどがまとめられた映像で、BGMと共に流れる感動する演出になっています。映像が終わると、例年は文化祭を盛り上げた裏方（劇団の黒子や生徒会執行部など）が舞台上に上がって校歌などを全校生徒で歌い幕を閉じるのですが、今年は昨年と同様コロナ禍での開催だったため、生徒会執行部のみが舞台上に上がり、文化委員長が挨拶して幕を閉じました。コロナ禍の制限を一番感じたのはここですが、文化委員長としては制限によって窮屈に感じたことは少なかつたし、最高の文化祭を作り上げられたと思っています。